

直近1ヶ月間の通常流通用抗インフルエンザウイルス薬の供給状況について (2月9日時点)

1. 卸売業者から医療機関・薬局等への供給量(1月13日～2月9日)

- 合計 約119.6万人分
- タミフル 約15.3万人分
(カプセル 約10.0万人分)
(ドライシロップ 約5.3万人分)
- リレンザ 約3.6万人分
- ラピアクタ 約1.7万人分
- イナビル 約30.5万人分
(吸入粉末剤 約30.3万人分)
(吸入懸濁用 約0.2万人分)
- ゾフルーザ 約39.7万人分
- オセルタミビル「サワイ」 約15.8万人分
(カプセル 約10.4万人分)
(ドライシロップ 約5.4万人分)
- オセルタミビル錠「トーワ」 約13.0万人分

2. メーカー・卸売業者の保有量(2月9日時点)

- 合計 約1,174万人分
- タミフル 約246万人分
(カプセル 約102万人分)
(ドライシロップ 約144万人分)
- リレンザ 約127万人分
- ラピアクタ 約13万人分
- イナビル 約476万人分
(吸入粉末剤 約472万人分)
(吸入懸濁用 約4万人分)
- ゾフルーザ 約172万人分
- オセルタミビル「サワイ」 約107万人分
(カプセル 約83万人分)
(ドライシロップ 約24万人分)
- オセルタミビル錠「トーワ」 約33万人分

問い合わせ先
医政局医薬産業振興・医療情報企画課

抗インフルエンザウイルス薬の供給量及びインフルエンザの発生状況

(直近1ヶ月間)

期間	卸売業者から医療機関・薬局等への供給量	インフルエンザ定点当たり報告数	国立感染症研究所によるインフルエンザ感染者数の推計値
1/13～1/19	109万人分	18.38	約64.5万人
1/20～1/26	24万人分	11.06	約38.6万人
1/27～2/2	▲4万人分	5.87	約19.4万人
2/3～2/9	▲9万人分	3.78	約12.5万人

※ 1月13日から2月9日の卸売業者から医療機関・薬局等への供給量は、約119.6万人分

※ 2月9日時点のメーカー・卸売業者の抗インフルエンザウイルス薬の保有量は、約1,174万人分

※ ▲(マイナス)は、卸から医療機関・薬局等への供給量に比べ、医療機関・薬局等から卸への返品量が多かったことによるもの。

今シーズンは例年以上に急激に感染が拡大し、一時的に定点医療機関からの報告数で過去最高を記録したほか、長期間の年末年始休暇が重なったこともあり、医療機関・薬局等において、こうした感染状況が一定期間にわたって継続することにも備え、一定の在庫を確保していたことが影響していると考えられる。

なお、返品された製品については、必要としている他の医療機関・薬局等へ供給することで、医療資源の無駄が生じないように努めている。